

おいしい

米づくり情報

発行日 平成30年6月15日

No.7

南魚沼市
NOSAI新潟県
JA魚沼みなみ

— 30年産米 —
食味ランキング
特A復活に向けて！

中干しの時期になりました！！

6月10日調査結果

【生育調査圃場 12 か所の平均値】

調査内容	今年	前年	指標値	前年比	指標値比
草丈 (cm)	30.1	26.5	27.0	114%	111%
坪当り茎数 (本)	542.5	305.1	400	178%	136%
葉数 (葉)	6.3	5.4	5.5	117%	115%

調査圃田植え日平均：5月20日

今年は気温が高い日が多かったため、やや植え傷みがあった圃場も散見されましたが、順調に生育しています。※昨年は低温で初期生育が遅れたため、特に茎数の前年比が大きくなっています。

中干し開始時期の圃場が多くなっています！！

- ・5月15日頃田植えの圃場：直ちに中干しを開始してください。
- ・5月20日頃田植えの圃場：6月19日(火)には中干しを開始してください。
- ・5月21日以降の田植えの圃場：田植え1か月後には中干しを開始してください。

◎遅い中干しは効果が不十分です。「遅くとも田植え後1か月」には中干しを始めてください。
また、中干しは遅くとも出穂期の1か月前（7月5日～10日頃）までには終了してください。

JA魚沼みなみ中干し強化週間！！

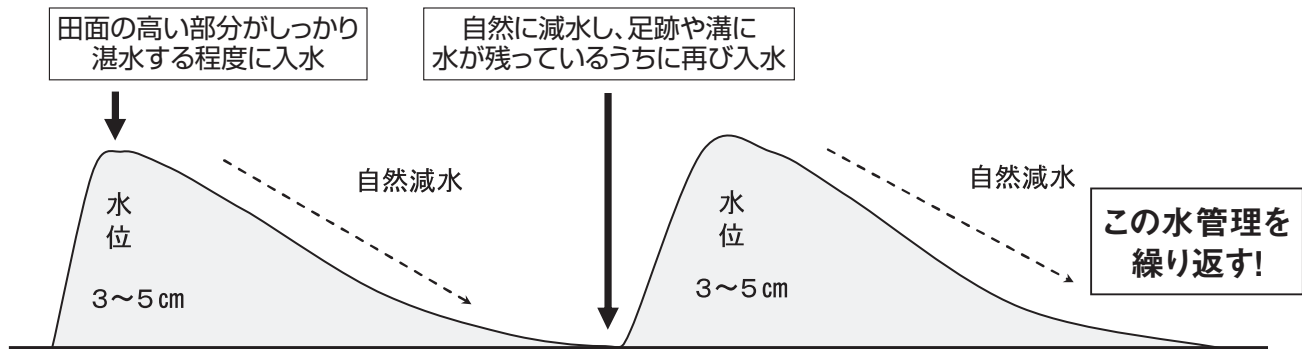
6月15日(金)～6月25日(月)

※田植え後1か月を目安に中干しを開始してください！！

中干し終了後は根の健全化のため、飽水管理を行ってください。

中干し終了後から特に水が必要な時期になりますが、常時湛水する必要はありません。自然落水をして、足跡に水がたまっている箇所が散見されたらかん水するようにしてください。飽水管理は、根の健全化と地耐力の確保にもつながります。

●飽水管理のイメージ



○中間追肥…登熟・食味の向上を! 耐病・耐倒伏性の向上を!

稲体の生育期間中、水・栄養分の吸収量が最も多くなる出穂前 35 ~ 40 日頃に中間追肥を行うことで、食味・登熟向上につながります。

肥料名	成分量 (%)	基準施用量 (10a当り)	使用時期	特徴	店頭価格 (5/23現在)
魚沼ロマン グルメエース	リン酸:6 苦土:10 マンガン:0.1 ホウ素:0.1 ケイ酸:約16 銅・鉄・亜鉛:微量	20~40kg	6月下旬 ~ 7月上旬	リン酸・苦土・ケイ酸に加え、微量元素を多く含むバランスの良いマルチ肥料。	¥2,041
マグコープ	リン酸:17 苦土:3.5	20~40kg	6月下旬 ~ 7月上旬	養分や水分の吸収力を高めるリン酸を多く含む。	¥1,587
けい酸加里 プレミアム34	カリ:20 苦土:4 ホウ素:0.1 ケイ酸:34 鉄2~5 アルカリ7~12	20~40kg	6月下旬 ~ 7月上旬	良いお米には欠かせないケイ酸分を豊富に含む。また含まれるカリは緩効性のため効率よく吸収される。	¥2,354

※店頭価格は全て税込です。

★ケイ酸資材を入れて、病害虫や倒伏に強い稲体づくりを行いましょう!!

携帯メール会員募集!!

無料(通信料は除く)でタイムリーな生育状況や緊急情報をメールで配信しています。

登録の仕方がわからない方は、携帯を持って普及指導課にお越しください。こちらで登録いたします!

登録は下記メールアドレスへ空メールを送信

beikoku@haisin.jp

または、右記 QR コードをご利用ください。➔



ご不明な点等がございましたら JA 普及指導課(TEL777-3786)までお問い合わせください。